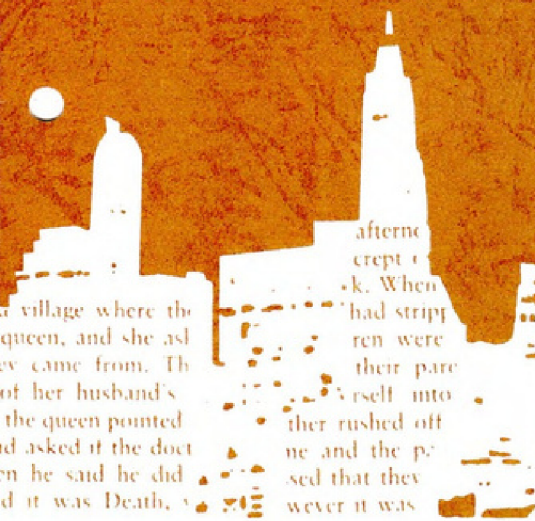


# セルコート

(アスファルトエマルジョン系塗膜防水材料)

1液型防水材料



KANSAI PUTTY MFG CO., LTD.

セルコートは、特殊アスファルト系と特殊合成樹脂エマルジョンを主成分とする1液型のエマルジョン系塗膜防水材で、悪素地によく付着し、作業性、安全性に優れた防水材で下塗り及び、非ばくろ部では上塗り兼用。

セルトップは特殊合成エマルジョンを主成分とした防水上塗り塗料で各種の防水層、シート防水層の上塗りに適しています。

又、歩行安全性によりノンスリップ(N・S)を準備しています。

この商品は長年の実績があり好評を博しています。

## ■特長

### 1. 素地に対する付着が抜群。

特にセルコートは、アスファルト系エマルジョンで悪素地面に対してよく付着し、下地のクラックに対する追従性も優れています。またセルトップは各防水材の塗りかえにも適しています。

### 2. 取扱いが簡単です。

1液性の水性なので作業性、安全性が良好です。

### 3. 塗膜の耐久性がよい。

耐候、耐水、耐薬品、耐蝕等の耐久性が優れています。

## ■用途

### セルコート

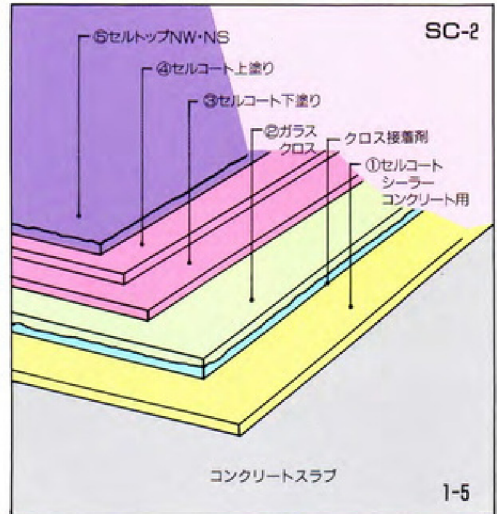
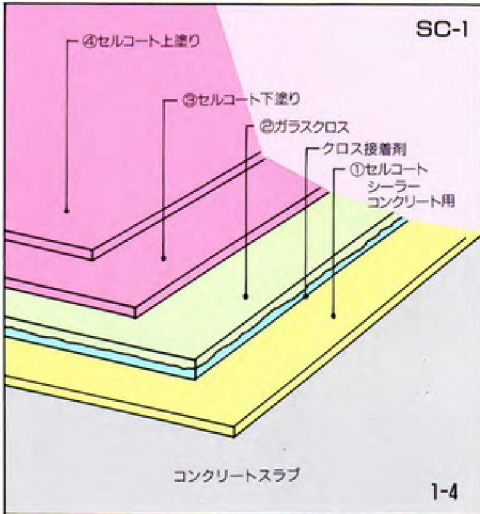
1. ベランダなどの防水。
2. R.C.、S.R.C造などの屋上防水。

### セルトップ

1. アスファルト防水や、砂付ルーフィングの上塗。
2. プチルゴムなどの各種シート防水層の上塗。
3. ウレタン、エマルジョンなどの各種樹脂防水層の上塗。

## ■セルコートの施工

■セルコート コンクリート面施工図



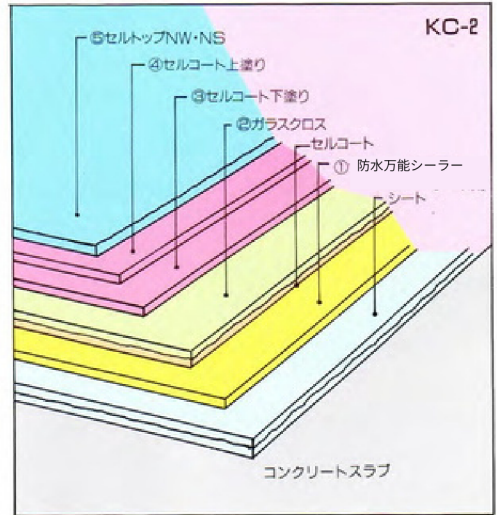
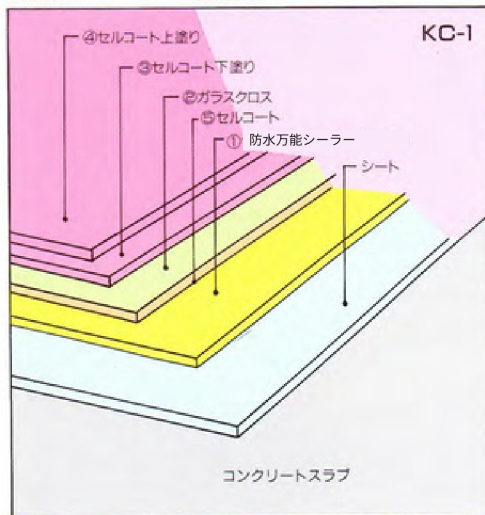
■セルコート、セルトップの施工例

施工手順	工程	要 領
1.	下地処理	<p>①モルタル面の凹凸や突起物のない様にして下さい。</p> <p>②下地に「くぼみ」や「クラック」のある場合はエポキシパテや、シーリング材で下地を平滑にして下さい。</p> <p>③下地のほこり、油分、レイタンスなどを除去する。</p> <p>④下地に水分が残っていると接着不良やフクレの原因になりますので充分乾燥させて下さい。</p>
2.	シーラーの塗布	<p>①下地の点検がすんだら、セルコート・シーラーコンクリート用をローラー又は刷毛でムラなく塗って下さい。</p> <p>気泡の発生が多いスラブには必ずシーラーを2度重ね塗りして下さい。付着力を高めスラブの気泡防止のため必ず塗って下さい。</p>
3.	ガラスクロス貼り付け	ガラスクロスをひろげ接着剤で貼り付けて下さい。
4.	セルコート塗布	<p>①1回塗：1 kg/m<sup>2</sup>、セルコートを缶の内でよく攪拌させ角コテ、又はローラー刷毛でしごくように塗って下さい。</p> <p>②2回塗：1 kg/m<sup>2</sup>、下塗りが硬化した(約24H/25℃)後仕上げ塗りを行って下さい。この際に塗りムラをなくして、全体が均一な厚みになるようにして下さい。</p>
5.	セルトップ塗布	<p>①下塗：セルコートが完全に硬化した後、用途(非歩行、軽歩行)に応じてセルトップNW又はNSをローラー刷毛などで塗って下さい。</p> <p>②上塗：下塗と同じ要領で仕上げ塗りを行って下さい。下塗にムラがあれば上塗で完全になくすように塗って下さい。</p>

# セルコート (アスファルトエマルジョン系塗膜防水材料)

## ■セルコートの施工(改修工事例) (シート面・コンクリート面・アスファルトルーフィング・ウレタン防水)

### ■セルコート シート面施工図



## ■セルコート、セルトップの性状

### ■品質特性

項目	結果	試験方法
外観	粘稠液体	
粘度	10,000C cps	
比重	1.00	
不揮発分	66±2%	
引張り強度	21.5kg/cm	ダンベル3号型 20℃引張り速度200mm/分
引裂き強度	9.1kg/cm	
破断時の伸び率	1067%	
最高亀裂幅	11mm	ゼロスパン 塗膜/mmスレート板密着 20℃引張り速度50mm/分
耐水性	14.9%膨張	20℃水に24時間浸漬
耐アルカリ性	11.5%膨張	20℃2%のカセイソーダ水溶液に24時間浸漬
硬 度	30	ショアーA
指触乾燥時間	2~3時間	25℃ RC構造で1kg/m塗布
硬化時間	24時間	



# セルコート (アスファルトエマルジョン系塗膜防水材料)

## ■仕上塗り

下塗りが乾燥(12~36時間)後フクレ・ピンホール塗りムラ等があれば補修し、砂・ごみ等の付着物を取り除いて下塗りと同様に1kg/m<sup>2</sup>をコテ・ローラーブラシ等で塗布して下さい。

## ■注意事項

1. エマルジョン系なので施工後、硬化するまでの間、雨水を避ける措置をして下さい。又、冬期の施工に於いては凍結に注意して下さい。

2. 寒冷地等低温の場合、冬期の硬化時間を短縮する場合は、凍結防止剤を添加して下さい。凍結防止剤(塩化カルシウム)は、セルコート1000に対する硬化促進剤として下さい。

3. 施工用具の汚れが水洗いで落ちない場合は、ラッカーシンナーで洗って下さい。

4. 本剤に硬化促進剤を混入した場合、製品は使用できません。必ず注意して下さい。

## ■施工上の注意事項

1. 使用前はマゼール等でよく攪拌して下さい。
2. 各工程時の、塗り重ね時間は湿度、気候、施工場所で多少異なりますので、十分に乾燥していることを確認の上塗り重ねして下さい。
3. 下地が濡れている場合は、施工しないで下さい。十分乾燥後施工して下さい。
4. セルコートは無希釈です。希釈しないで下さい。
5. シーラー塗布等吸込みが激しい場合は、2回塗布して下さい。
6. 製造ロットにより多少色が違う場合がありますので、同じ現場では、出来るだけ同一ロットを使用して下さい。
7. 防水層形成後、各種作業を行う場合は、損傷に注意して下さい。

## 標準色

### ■セルコート

- ダークグレー
- ダークグリーン
- ダークブラウン

### ■セルトップ

- |            |            |
|------------|------------|
| ●NWシルバー    | ●NSグリーン    |
| ●NWグリーン    | ●NSシルバーグレー |
| ●NWシルバーグレー | ●NSグレー     |
| ●NWグレー     | ●NSアンバー    |
| ●NWアンバー    |            |

## ■保護塗料

上塗りが完全硬化した後、用途(非歩行、軽歩行)に応じてセルトップNW又は、セルトップNSをローラー(又は刷毛)で2回塗りして下さい。

■施工仕様

仕様記号	膜厚 (mm)	シーラー (kg/m <sup>2</sup> )	セルコートクロス張り又は接着剤 (kg/m <sup>2</sup> )	セルコート 下塗り(kg/m <sup>2</sup> )	セルコート 上塗り(kg/m <sup>2</sup> )	保護化粧材(kg/m <sup>2</sup> )	
						セルトップNW	セルトップNS
SC-1	2	0.2	接着剤 0.3	1	1		
SC-2	2	0.2	接着剤 0.3	1	1	非歩行用0.2	歩行用0.7
KC-1	2	0.2	セルコート 0.3	1	1		
KC-2	2	0.2	セルコート 0.3	1	1	0.2	0.7

■セルコート防水材料一覧

用途	品名	荷姿	備考
シーラー	セルコート シーラーコンクリート用	14Q 4Q	アクリル系シーラー
	セルコート シーラーシート用	14Q 4Q	
	防水万能シーラー (水性)	14Q 4Q	
	セルコートFRP用プライマー (溶剤)	14Q 4Q	ポリウレタン系
防水材料	セルコート ダークグレー	18kg	アスファルトエマルジョン系
	セルコート ダークグリーン	18kg	
	セルコート ダークブラウン	18kg	
	<del>セルコート ブラック</del>	<del>18kg</del>	
防水保護塗料	セルトップNW シルバー	15kg	非歩行 合成樹脂系
	セルトップNW グリーン	18kg	
	セルトップNW シルバークレー	18kg	
	セルトップNW グレー	18kg	
	<del>セルトップNW アンバー</del>	<del>18kg</del>	軽歩行
	セルトップNS グリーン	20kg	
	セルトップNS シルバークレー	20kg	
	セルトップNS グレー	20kg	
<del>セルトップNS アンバー</del>	<del>20kg</del>		
副合材	めじテープ外部用	100mm×15m 1%8巻	未加硫ゴム
	<del>セルシボ</del>	<del>10kgシート・1kgシート</del>	<del>塩化ビニル系</del>
	<del>硬化促進剤</del>	<del>1Q</del>	
シール材	<del>セルラールFON</del>	<del>320mm/カート 1%20本</del>	<del>ポリウレタン系</del>
	ハイトコークN	330mm/カート 1%20本	アクリル系



関西パテ化工株式会社

〒579-8003 大阪府日下町3丁目7-26 TEL:072-962-0731(代) FAX:072-962-2135  
〒121-0813 東京都足立区竹の塚3丁目14-10 TEL:03-9650-3101(代) FAX:03-9650-3103  
〒803-0815 北九州市小倉北区通町1丁目9-3 TEL:0931-571-7156(代) FAX:0931-571-2159